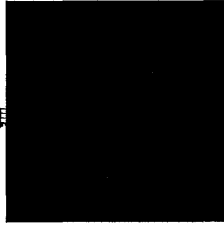


厚生労働大臣 殿

大分大学医学部附属病院長  
古 林 秀 貞



特定機能病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	38人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常勤	非常勤	合計	職 種	員数	職 種	員数
医 師	184人	122人	306人	看護業務補助	5人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	6人	6人	12人	理学療法士	6人	臨床検査 衛生検査	臨床検査技師 33人
薬 剤 師	21人	4人	25人	作業療法士	4人		衛生検査技師 0人
保 健 師	1人	0人	1人	視能訓練士	2人	そ の 他	0人
助 産 師	26人	0人	26人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	388人	45人	423人	臨床工学技士	5人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	11人
歯科衛生士	2人	0人	2人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	76人
管理栄養士	5人	0人	5人	診療放射線技師	20人	そ の 他 の 職 員	43人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯 科 等	合 計
1日当たりの平均入院患者数	474.6人	8.6人	483.2人
1日当たりの平均外来患者数	807.8人	36.2人	844.0人
1日当たりの平均調剤数	1,458.7剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」の欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

## 1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
・鏡視下肩峰下腔除圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31 磷-磁気共鳴PET/CTとPET/CT画像による糖尿病性足病変の非侵襲診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィリン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍（神経芽腫）のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	0人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・無	4人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対する muscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験（CD-DST法）	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診療と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するレーザーによる経皮的椎間板減圧術（CT透視下法）	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚繊維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞（CD34陽性細胞に限る。）による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類（医科）	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD（アナログ）直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍（組織）を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍（組織）及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類（歯科）	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齲蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術（PPH）	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像診断ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input type="radio"/> 無	人
CYP2C19 遺伝子多型検査に基づくテラメト <sup>®</sup> のヘリコバクター <sup>®</sup> 除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

(様式第10)

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	46人	・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	27人
・多発性硬化症	39人	・ウェゲナー肉芽腫症	5人
・重症筋無力症	44人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	17人
・全身性エリテマトーデス	165人	・多系統萎縮症	19人
・スモン	2人	・表皮水泡症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	11人	・膿疱性乾癬	4人
・サルコイドーシス	132人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	18人	・原発性胆汁性肝硬変	25人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	76人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	26人	・特発性大腿骨頭壊死症	29人
・結節性動脈周囲炎	17人	・混合性結合組織病	26人
・潰瘍性大腸炎	50人	・原発性免疫不全症候群	1人
・大動脈炎症候群	11人	・特発性間質性肺炎	26人
・ピュルガー病	4人	・網膜色素変性症	14人
・天疱瘡	7人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	31人	・原発性肺高血圧症	0人
・クローン病	24人	・神経繊維腫症	5人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	1人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	44人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	3人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	18人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・ハンチントン病	3人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	平均して毎月1回		
剖検の状況	剖検症例数	19例	剖検率 9.9%

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
卵巣・子宮内膜における血管新生の促進因子および抑制因子の産生調節に関する研究	河野 康志	産科婦人科	千円 500	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
着床期子宮内膜におけるサイトカインの発現とその役割についての研究	奈須 家栄	産科婦人科	500	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
ヒト胚由来の血小板活性化因子による子宮内膜および脱落膜の血管新生の制御	植原 久司	産科婦人科	200	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
脳虚血再灌流障害におけるミトコンドリアレベルでの脳蘇生法の分子生物学的アプローチ	岩坂日出男	麻酔科	700	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
活性酸素種を介した糖代謝による筋細胞死の制御	米持 英俊	内科	1,000	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
性ホルモンによる熱ショック蛋白質発現調節	犀川 哲典	内科	1,500	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
喫煙による急性好酸球性肺炎の病態解明と血清診断マーカーの確率	宮崎 英士	内科	900	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
エピプラキン欠損表皮細胞の動態とトランスジェニックマウス作成	藤原 作平	皮膚科	600	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
大腸癌に対する腹腔鏡手術の有用性と検討ー開腹手術との比較ー	猪股 雅史	外科	1,000	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
閉塞性脳血管障害に関する血管新生促進療法	古林 秀則	脳神経外科	900	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
神経活動依存的 BDNF 誘導による損傷神経回路の再構成と機能回復	藤木 稔	脳神経外科	600	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
外尿道括約筋細胞の起源同定とその増殖分化制御機構の解明	三股 浩光	泌尿器科	1,100	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
更年期女性における微小血管性狭心症の病態解明と漢方医学的アプローチ	中川 幹子	内科	1,300	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
緑膿菌 Twitching Motility の遺伝子機能阻害ーRNAiによる治療	門田 淳一	内科	1,900	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会
GNE 遺伝子ノックダウン細胞を用いた遠位型ミオパチーの病態解析と治療法の開発	熊本 俊秀	内科	1,800	(補) 独立行政法人 委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
パニック障害の病態解明と臨床応用	穂吉條太郎	精神科神経科	1,800	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
制限増殖型レオウイルスを利用した新しいリンパ節転移診断法の開発	衛藤 剛	外科	1,700	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
人工呼吸器誘発肺障害と生体防御反応に対する異常体温(発熱・低体温)の影響	野口 隆之	麻酔科	1,700	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
エピジェネティクスにより制御された婦人科癌の新しい癌抑制遺伝子の発見	高井 教行	産科婦人科	2,900	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
熱傷合併煙吸入高齢ラットに伴う急性肺障害のカルシトニン遺伝子関連ペプチドの役割	工藤 享祐	手術部	1,300	(補) 独立行政法人 日本学術振興会 委
上気道における樹状細胞の粘膜免疫誘導機能の解析と経鼻 DNA ワクチンへの応用	児玉 悟	耳鼻咽喉科	2,400	(補) 文部科学省 委
可溶性 ADAM8 がアレルギー性気道炎症を抑制する機序の解明	松野 治	内科	500	(補) 文部科学省 委
セメント使用型人工股関節におけるセメント-金属界面の強化	家坂 一穂	整形外科	1,600	(補) 文部科学省 委
子宮内膜におけるサイトカインネットワークの解明-着床率向上へのアプローチ-	福田淳一郎	産科婦人科	1,300	(補) 文部科学省 委
Toll様受容体4 RNA 遺伝子導入による樹状細胞の活性化と中耳局所免疫能の賦活化	平野 隆	耳鼻咽喉科	1,700	(補) 文部科学省 委
エピプラキン分子サイズと結合分子の同定	竹尾 直子	皮膚科	2,600	(補) 文部科学省 委
人工呼吸時の気道内圧の差が気道内のMUC (mucin) 2の発現に及ぼす影響	吉良 慎一郎	麻酔科	1,900	(補) 文部科学省 委
前立腺癌における転写因子 Sp1 および Sp3 の機能解析	秦 聡孝	泌尿器科	2,000	(補) 文部科学省 委
子宮内膜症細胞におけるサイトカインの発現 -子宮内膜症が惹起する免疫異常の解明-	西田 正和	産科婦人科	2,500	(補) 文部科学省 委
エピプラキンと組織再生	後藤 瑞生	皮膚科	930	(補) 文部科学省 委
進行大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する較研究	北野 正剛	外科	20,000	(補) 厚生労働省 委

計 16  
合計 31

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人からの補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。



- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## (様式第11)

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diabetes (18年5月発行)	Phosphatidylinositol 3-kinase-dependent activation of akt, an essential signal for hyperthermia-induced heat-shock protein 72, is attenuated in streptozotocin-induced diabetic heart.	篠原 徹二	内科
Hypertension (18年7月発行)	Telmisartan prevents obesity and increases the expression of uncoupling protein 1 in diet-induced obese mice.	荒木 佳奈	内科
Brain Res (18年 発行)	Sterol regulatory element binding protein(SREBP)-1 expression in brain is affected by age but not by hormones or metabolic changes	岡本 健二郎	内科
Regul Pept (18年 発行)	Involvement of stomach ghrelin and hypothalamic neuropeptides in tumor necrosis factor-alpha-induced hypophagia in mice	遠藤 美月	内科
Circulation journal (18年6月発行)	Effect of preinfarction angina pectoris on myocardial blush grade after reperfusion in first anterior wall acute myocardial infarction.	田村 彰	内科
FEMS immunology and medical microbiology (18年6月発行)	Intratracheal immunization with pili protein protects against mortality associated with Pseudomonas aeruginosa pneumonia in mice.	大濱 稔	内科
Respiratory Medicine (18年11月発行)	The expression of pro- and anti-apoptotic Bcl-2 family proteins in peribronchiolar lymphocytes from patients with diffuse panbronchiolitis.	門田 淳一	内科
Respirology (18年 発行)	Elevated levels of interferon gamma-inducible protein-10 and epithelial neutrophil-activating peptide-78 in patients with pulmonary sarcoidosis	石井 寛	内科
Journal of Asthma (18年4月発行)	Links between bronchial asthma and allergic rhinitis in the Oita Prefecture, Japan..	松野 治	内科
Internal Medicine (18年7月発行)	Virus Associated Hemophagocytic Syndrome Accompanied by Acute Respiratory Failure Caused by Influenza A (H3N2).	安東 優	内科
International Archives of Allergy and Immunology (18年11月発行)	Elevated Soluble ADAM8 in Bronchoalveolar Lavage Fluid in Patients with Eosinophilic Pneumonia.	松野 治	内科
Clinical Neurology and Neurosurgery (18年11月発行)	Progressive multifocal leukoencephalopathy in an HTLV-I carrier.	木村 昭子	内科
Clinical Rheumatology (19年3月発行)	Early assessment of rapidly progressive interstitial pneumonia associated with amyopathic dermatomyositis.	宮崎 英士	内科

## (様式第11)

## 2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
神経治療学 (18年9月発行)	心原性脳塞栓症のheparin療法中に多発血栓症をきたし、argatrobanが奏効したヘパリン起因性血小板減少症の1例.	加隈 香苗	内科
末梢神経 (18年12月発行)	cryptogenic sensory polyneuropathy(CSPN)に関する自律神経学的検討.	大林 光念	内科
Atherosclerosis 184 (18年 発行)	Estimating the fasting triglyceride concentration from the postorandial HDL-cholesterol and apolipoprotein CIII concentrations	大林 光念	内科
Journal of Affective Disorders (18年 発行)	Mental effect of cholesterol in males: Protective effect?	寺尾 岳	精神科神経科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry (18年 発行)	Lithium and dementia: A preliminary study	寺尾 岳	精神科神経科
Psychopharmacology (18年 発行)	Effects of repeated milnacipran administration on brain serotonergic and noradrenergic functions in healthy volunteers	寺尾 岳	精神科神経科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry (18年 発行)	Administration of antisense DNA for ghrelin causes an antidepressant and anxiolytic response in rats	穂吉 條太郎	精神科神経科
Pediatric Neurology (18年4月発行)	Acute necrotizing encephalopathy associated with hemophagocytic syndrome	秋吉 健介	小児科
Neuropediatrics (18年10月発行)	Generalized convulsion with diffuse spike and wave bursts emerging with Grave's disease	前田 知己	小児科
日本小児科学会雑誌 (18年7月発行)	四肢巨大血管腫における凝固異常の左右差とその臨床的意義	秋吉健介	小児科
日本小児科学会雑誌 (18年10月発行)	在宅管理のためのパルスオキシメーターが有用であった特発性肺ヘモジデローシスの1例	秋吉健介	小児科
Brain Dev (18年 発行)	Congenital neuromuscular disease with uniform type-1 fibers, presenting early-stage dystrophic muscle pathology	是松 聖悟	小児科
日本内視鏡外科学会雑誌 (18年11月発行)	本邦における高度肥満患者に対する胃内バルーン留置術と腹腔鏡下胃バンディング術の導入.	太田正之	外科